

なぜ松山市で住民主導型移動サービスが広がったのか？

大石一浩/ネットヨタ瀬戸内株式会社 (連絡先: n-seto24[at]netz-setouchi.co.jp)

土井勉/一般社団法人グローバル交流推進機構 西堀泰英/大阪工業大学 鈴木雄/東京理科大学

松山市では2021年以降、住民主導型の移動サービスが相次いで運行を開始している。各地のまちづくり協議会やNPO法人等が、行政補助に頼らない運行費用確保、運行事業者探し、利用者募集や理解促進、運行の見直しなど、全て住民主導で行っている。なぜ松山市でこのように住民主導型移動サービスが広がったのか？を報告する。

はじまり: 「おでかけ困難地域を何とかしたい」

はじまりは、公共交通の不便な地区が多く、買物や通院などの日頃の外出が困難な「おでかけ困難地域」である松山市久枝地区だった。

運営主体である久枝地区まちづくり協議会の方々は、地域の「おでかけ困難」を解決する手段は持っていなかった。

そこで「おせっかい」にも、ネットヨタ(N)瀬戸内や東洋タクシー、またトヨタ・モビリティ基金と一緒に、おでかけ困難を解決する移動サービスの仕組みを検討した。



久枝地区まちづくり協議会HPのQRコード

久枝地区
まちづくり協議会

お出かけ困難を
なんとかしたい…
どうしたらいいのかわからない…

おせっかい

トヨタ・モビリティ基金 ネットヨタ瀬戸内 (N瀬戸内) 東洋タクシー

おせっかいかも
しれないが…
なんとかしよう!

どうする: できる方法を考える

サービス水準を含む移動確保の在り方を手探りで検討し、定額制送迎サービスとすることを決めた。

関係機関との調整を経て、行政の補助金に頼らずに利用者からの会費と地域の企業からの協賛金によって、収支面で自律した運営を実現した。

地域の企業が「地域のために存在する」という意識を持つことも後押しとなった。

地域の様々な主体が、地域の住民が「ごきげん」に移動できるために協力。

サービス水準を
どうするか?

費用を考えると2台は無理
1台で考えよう

費用はどうやって
まかなう?

行政補助は難しそう
地域のことは地域の企業に
頼もう!

企業が協賛金を
出してくれるの?

協賛金をお願いしたら
企業が出してくれた!

運行の担い手が
いない!

うちがやります!
(東洋タクシー)

こうして2021年1月
チョイソコひさえだ
スタート!
補助金に頼らず
収支面で自律した運営を実現

運行台数: 1台
運行形態: ワゲマント相乗りタクシー
料金: 月3500円の定額制*
*2023/10より500円値上げ
会員数: 最大80人

しられる: 好事例が拡散され、お出かけの悩みを抱える人たちに届く

テレビや新聞で移動手段確保の好事例として取り上げられ情報が拡散。「おでかけ困難」に遭遇している方々の耳に入る。

その方々が視察や相談に訪れた際、情報を「おすそわけ」し、「ごきげん」に取り組んでいる姿を見せたことが、視察者にも前向きな気持ちを与えたのかもしれない。

新聞記事
テレビ番組



N瀬戸内
東洋タクシー
久枝地区
まちづくり協議会

あいテレビ/ASTASエヒメ
QRコード (Youtube)

録音メディア掲載リスト
2020 0828東横新聞 (キックオフ前住組みづくり)
2020 0831東横経済レポート (キックオフ)
2020 0905南海タイムズ (キックオフ予定)
2020 0914東横経済レポート (キックオフ)
2020 0915南海タイムズ (キックオフ)
2020 1225東横新聞 (運行開始前)
2021 0114東横新聞 (実証実験スタート)
2021 0123南海タイムズ (実証実験スタート)
2021 0123読売新聞 (実証実験スタート)
2021 0220東横新聞 (実証実験スタートまでの道のり)
2021 0308東横経済レポート (現状報告意見交換会)
2021 0315南海タイムズ (現状報告意見交換会)

おしえる: 調査の指南・研究会開催による各地域への積極的な動機付け

主にN瀬戸内「おせっかい」にも各地の状況を調査し、「おでかけ困難」の存在や久枝と同じ方法が使えそうなことを伝え、動機づけした。

また、同じ悩みを抱える人たちが集う場として「えひめ公共交通の会」を開催し、情報発信・情報共有・仲間づくりの場を提供している。そのため毎回WSを開催し、参加者の交流を促している。

N瀬戸内

実態を調査
しましょう!

何から
始めれば?

おでかけ
困難を
抱える
地域

久枝モデルが
使えそう

これなら
やれるかも!

【えひめ公共交通の会】開催実績

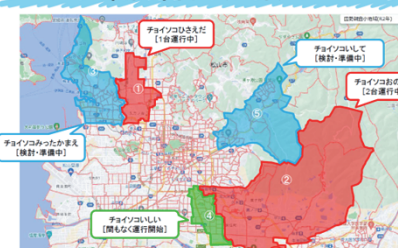
2020/10: N瀬戸内 大石・WS(7-9ヶ月)
2021/2: N瀬戸内 大石・WS
2021/7: 東温市 酒井氏・西予市 片山氏・WS
2021/10: グローバル交流推進機構 土井・WS
2022/6: 八幡浜市 大上氏・WS
2023/2: 名古屋大学 加藤先生・WS
2023/6: 大阪工業大学 西堀・WS

WSの様子



ひろがる: 各地で取り組みが始まる

松山市内のチョイソコ



【第1弾】
ひさえだ地区 2021/1開始
主体: まちづくり協議会

【第2弾】
おのくめ地区 2022/5開始
主体: NPO法人

【第3弾】
いしい地区 2023/10予定
主体: NPO法人
※他にも2地区が検討中

住民主導型移動サービスが広がったポイント!

「おすそわけ・おせっかい・ごきげん」

- 機会の「おすそわけ」
自分が手にした良いものを、「おすそわけ」するその気持ち
- 望みの「おせっかい」
望むもためらうその人に、動機付けする「おせっかい」
- 運営主体が一番「ごきげん」
無理なく続ける「ごきげん」運営

謝辞: 本発表の一部は公益財団法人大林財団の助成を受けました。ここに記し謝意を申し上げます。